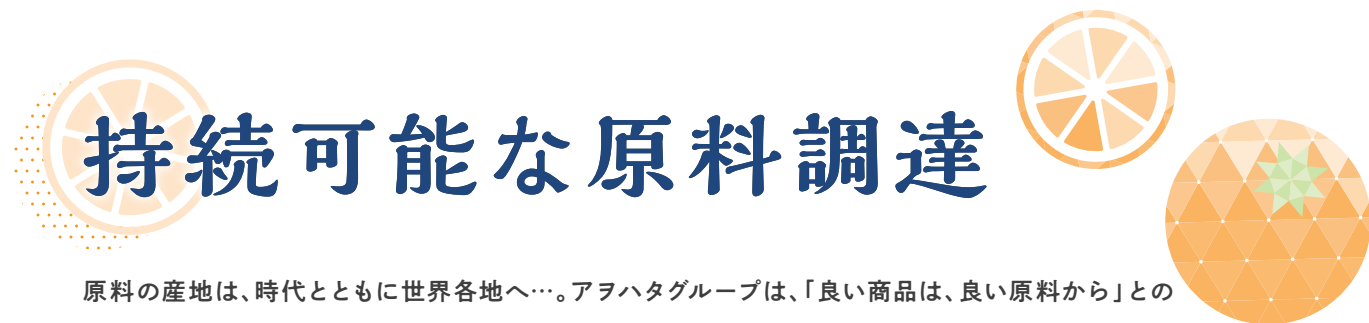




持続可能な原料調達

原料の産地は、時代とともに世界各地へ…。アラハタグループは、「良い商品は、良い原料から」との考え方にに基づき、生産者との信頼構築、栽培技術の研究を進め、高品質な原料の安定確保に努めています。

良い商品は、良い原料から

穫れたての味と香りを閉じ込める

原料一次加工※の工場は原料産地に立地しています。適切な熟度で収穫された果実は、新鮮なうちに一次加工されたのち、私たちの工場へ届けられます。

※一次加工とは、果実のヘタや不要なものを除去し、洗浄、凍結させること



フルーツ加工研修により農産加工の原点を学ぶ

アラハタでは従業員向けにフルーツ加工研修を実施しています。この研修を通し、「農産加工の原点」「商品や技術の歴史」および「アラハタのユニークさ（オリジナル技術）」を学び、日常業務の行動・考え方の基にすること、また、果実原料の一次加工（原料のこだわりなど）や実際の味づくりを体験し、「良心のこもったアラハタづくり」の理解を深めることを目的としています。柑橘の一次加工工程やイチゴの栽培研究の現場を従業員自らの目と味覚で体験しながら、アラハタの独自性や優位性を学習しています。



フルーツ原料のサプライヤーとのエンゲージメント

トップ同士の交流でパートナーシップの構築

当社グループの原料産地は、時代とともに世界各地に広がっています。安全で安心な原料を安定的に調達するには、生産者との信頼関係の積み重ねが不可欠です。当社グループの求める品質に関して、ご理解いただける生産者とトップ同士の交流などパートナーシップを構築しながら取り組みを行っています。



原料品質へのこだわり ～生産者とともに柑橘の優良産地を持続させる～

アラハタのママレードづくりにおいては希少な品種である「冬だいい」が不可欠です。この希少な品種を守るため、1971年（昭和46年）に瀬戸内海にある因島でアラハタ会を発足し、契約栽培を開始しました。

今年も生産者を対象としたママレード品質講習会を実施しました。アラハタブランドを支えてくださっている生産者との対話も重要な取り組みのひとつです。

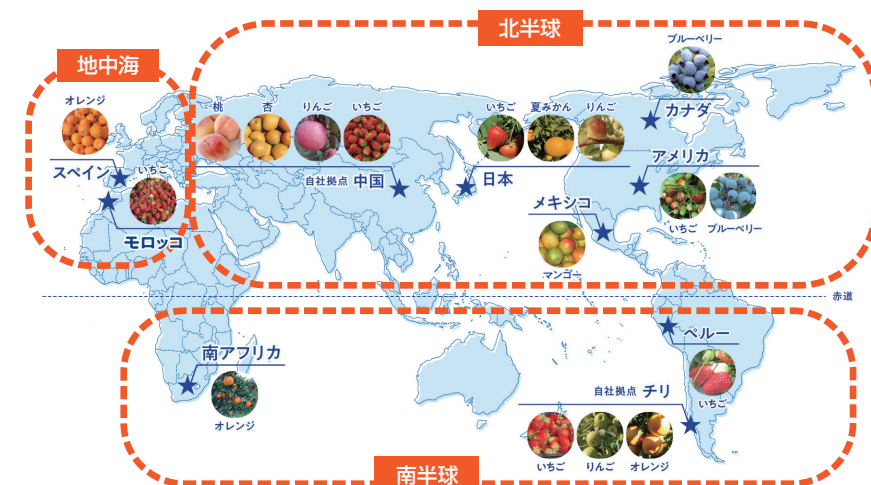


持続可能な原料調達のために

世界に広がる原料産地

■ 世界に広がるフルーツ調達拠点

原料となるフルーツの美味しさに徹底的にこだわり、世界各地から調達しています。



「適地適作」
最良の原料を調達

リスクの分散
(気候変動、地政学リスク)

持続可能な調達のための基本方針

アラハタグループは、創業以来「フルーツ加工品は原料を選ぶことによって7割が決まる」という信念のもと、常に良い原料を求め、安全・安心でフルーツのもつ美味しさにこだわった商品づくりに努めてきました。しかし、今や良い原料の条件としては、美味しさ・安全性だけでなく、環境や人権に与える影響にも配慮していることも求められており、お客様に安心・ご満足いただくために欠かせない要素となってきています。こうした中より良い原料を安定的に調達するためには、お取引先と一緒に取り組んでいく必要があり、それによってお取引先と私たちの持続可能性を高め、お客様に良い商品をお届けすることにつながっていくと考えます。

よって、以下のことをアラハタグループの持続可能な調達の基本方針といたします。

- ① 法令を遵守し、国際的なルール・慣行にも配慮した取引を行うとともに、腐敗行為の防止を徹底する。
- ② 公正で誠実な取引を行うとともに、機密情報や知的財産を適切に管理する。
- ③ 人権を擁護し、差別的な言動や非人道的な扱いを行わず、また人権侵害に加担しない。
- ④ 従業員の労働者としての権利を尊重し、適切な労働慣行と安全で衛生的な職場環境を確保する。
- ⑤ 地域と地球環境の汚染と破壊を防止するため、資源の持続可能な利用に努める。
- ⑥ 安全で高品質な原料を持続的に利用できるように、生態系への影響も考慮した管理を行う。
- ⑦ 原料を生産する地域社会が持続可能になるよう、積極的に貢献する。
- ⑧ 上記に関して、自社のお取引先にも同様の配慮をお願いする。
- ⑨ 上記に関して、適時・適切な情報開示を行う。

■ サプライヤーCSRガイドライン※の共有

アラハタでは、お客様により商品を継続してお届けするため、持続可能な調達の実現に向けた「サプライヤーCSRガイドライン※」を策定し、お取引先・生産者の皆様への遵守のお願いと、課題解決に向けた取り組みを継続しています。

特に、イチゴ産地では気温の上昇と水不足によるリスクを認識しており、新たな栽培技術の探求と検証を進めています。

※サプライヤーCSRガイドラインとは、上述の基本方針をより具体的にお取引先・生産者の皆様へお示しするために策定したものです。